

# 佐賀大、海洋エネルギー研究所 在京太平洋島しょ国大使グループ等が視察

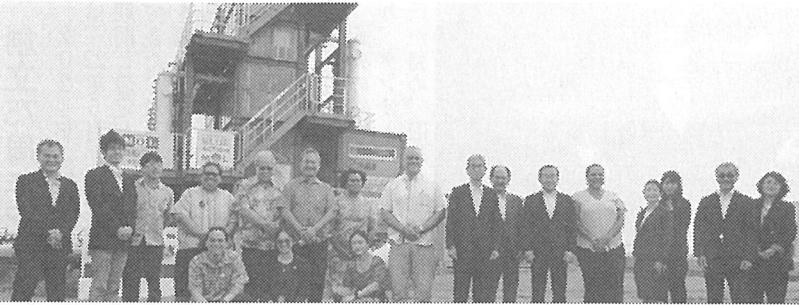
一課企画官、笹川平和財團海  
洋政策研究所の塩澤英之島し  
ょ国・地域部長、柳澤好治文  
部科学省研究振興局大学研究  
基盤整備課長ら関係者も同行。  
同大からは、兒玉浩明学長、  
豊田一彦研究・社会連携担当  
研究室長ら計12名が出迎えた。

在京太平洋島しょ国大使グ  
ループのティヴィタ・スカ・マ  
ンギシ駐日トンガ王国特命全  
權大使、ジヨン・フリツツ駐  
諸島共和国特命全權大使、ヘ  
レン・ロイ・タヌヴァサ・チ  
ヨウ・リー駐日サモア独立國  
タ・ビング駐日マーシャル  
臨時代理大使等の6カ国計13  
名が10月31日、佐賀大学の海  
洋エネルギー研究所久米島サ  
テライト（IOES）を視察  
した。

同視察は、海洋溫度差発電  
(OTEC)技術の開発・展  
開における支援と調整を目的  
としている。OTECは、ク  
リーンエネルギーとして脱炭  
素化の推進のため、7月18日  
に開催された第10回太平洋・  
島サミット（PALM10）の  
共同行動計画でも「導入を検  
討する」とされた注目されて  
いる技術である。

同視察には、三谷将大外務  
省国際協力局国別開発協力第

露し国際交流の場となつた。  
同大では、50年以上にわた  
ってOTECに取り組み、2  
013年に久米島で世界初の  
長期実証研究に成功。OTE  
Cの技術は、発電に利用した  
海洋深層水を複合利用できる  
ことが大きな特徴で、発電に  
加えて海洋深層水を利用した  
産業と海水淡水化研究事業と  
も組み合わせた「久米島モデ  
ル」には世界70カ国以上から  
視察者が訪れている。



実験体験会

## 女子中高生の理系進学支援 佐賀大、リケフェス'24開催

佐賀大学は10月27日、科学技術振興機構（JST）令和6年度「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」事業で採択された「継続・育成型 STEAMガールズコンソーシアム」による「女子中高生のための今知りたい！理系進学で広がる未来リケフェス2024」を同大で開催した。今年度は、これまでの4機関（佐賀大学・西九州大学・長崎国際大学・佐世保高専）に新たに久留米工業大学が加わり、5機関合同で実施した。

リケフェスは、シンポジウム（基調講演・トークセッション）、学校別相

談会、実験体験会を通して、将来の進路選択について考え、理系分野への親しみをもつてもらうことを目的としている。今回、保護者を対象とした新企画として、本音で語り合う「進路いろいろカフェタイム」も実施。中学生60名、高校生38名、保護者・教育関係者等45名、関係者スタッフ58名の計201名の参加があった。

基調講演では、「理系・文系あなたは何系？」と題して、神戸佳子氏（東海大学児童教育学部特任教授）が講演を行った。数学は「疑うこと」が大切であること、また「中高生の皆さんのが進路を考える時、いろいろな理由があるだろうけれど『楽しむこと』を忘れないではない」とのメッセージがあった。トーキングセッション「見つけて私のロールモデル！」では、荒木薫ダイバー・シティ推進室副室長がファシリテーターとなり、各大学・高専の女子学生5名、神戸氏とともに意見交換を行つた。実験体験会では、各大学から興味深い6つのブースが開設され、また「進路いろいろカフェタイム」では保護者等20名の参加があつた。